

香川県 タブレット端末購入費の補助を私学にも(知事表明)

香川で、タブレット端末の補助が私学生にも出ることが決まりました。公立高校の生徒には一定の補助がすでに決まっていたが、10月22日に池田知事が私立高校生にも同様の支援をおこなうことを表明しました。県総務学事課も「公私間格差是正の観点より考慮した。支援の具体的内容は検討中で、ご意見があればうかがいたい」と話しています。エアコン電気代に続いて、私学の運

2024.10.22

動が政策を動かしたと評価できます。

他県でも同様の要請をおこなっているところもあるかと思いますが、公私間格差と同時に自治体間格差を是正する点からも、強く要望していきましょう。

香川県私学助成をすすめる会ニュース No.43

タブレット端末の自己負担軽減に向けて 池田知事「私学の生徒も県立同様に一定の支援」

KSB 香川ニュース

瀬戸内海放送HPより



いま私学では、ほとんどの学校で生徒が使用するタブレット端末代は家庭で負担しています。一方、公立は(ごく一部の学校を除き)、タブレットを行政予算で用意し生徒に貸し出しており、生徒の自己負担はありませんでした。

しかし、公立も来年度の入学生からは学校指定の端末を自己負担で購入させることが明らかになり、この夏、香川の教育をよくする県民会議や保護者などを中心に「自己負担反対」の署名が県教委に提出され、県の動向が注目されていました。

そして、10月9日の県議会一般質問の答弁で、淀谷教育長より「(公立高校入学生には)県から一定の補助を出す」との方針が示されました。

県総務学事課「公私間格差是正の観点より考慮」

すすめる会事務局では、「私立も同様の扱いをしてもらいたい」と県への要請を準備しているところでしたが、10月21日の会見で、池田知事が私立高校の生徒に対しても同様の支援を行うことを明らかにしました。今回の措置について、池田知事は「子育てに伴う経済的負担の軽減の観点からも必要な対応であると考えている」とその理由を述べています。

県総務学事課の担当者も、「公私間格差是正の観点より県が考慮した。支援の具体的内容は検討中で、ご意見があればうかがいたい」と話しています。エアコン電気代に続いての端末補助金は、公私間格差是正、保護者負担軽減の点で私学への大きな支援です。

秋の私学助成署名運動もいよいよ佳境

学園への経常費助成金増額や、保護者への授業料負担軽減に向けて、私学助成署名を広げていきましょう



10月11日 県議会

国へ私学助成の充実強化を求める意見書を採択

11月19日 私学助成街頭署名(丸亀)に参加を

学費滞納調査は10月末までに必ず本部におくってください。
25春闘アンケートは11月末までのとりくみです。